

2026 年 10 月 15 日
プレスリリース No.016-26

掛川市指定有形文化財「松ヶ岡(旧山崎家住宅)」の魅力を伝える 「松ヶ岡御邸印」を学生が企画・制作 文化財建造物への来訪の証として限定販売

静岡文化芸術大学は、掛川市と松ヶ岡を愛する会と共同で掛川市指定有形文化財「松ヶ岡(旧山崎家住宅)」を対象にした文化財建造物の活用についての研究を進めています。このたび、本学の実践的カリキュラムである地域連携演習「松ヶ岡(旧山崎家住宅)魅力創出プロジェクト 2026」の一環として、学生 2 名が企画・制作した「御邸印」を販売します。御邸印は、文化財建造物を訪れた記念となる来訪の証として制作したもので、松ヶ岡の歴史や文化的価値を広く知っていただくことを目的としています。

■松ヶ岡の歴史と文化的価値

「松ヶ岡」は、江戸時代に掛川藩御用達商人であった山崎家の邸宅で、松が生い茂る屋敷の景観からその名で親しまれてきました。安政 3 年(1856)に建築された主屋を中心に、奥座敷、長屋門、土蔵群などが現存し、掛川市指定有形文化財に指定されています。明治 11 年(1878)には明治天皇の北陸東海兩道御巡行の際の行在所となり、歴史的にも貴重な建造物として知られています。また山崎家は、掛川藩の藩校「教養館」設立の立役者でもあり、松ヶ岡は「以善堂」と呼ばれました。

■学生による魅力発信の取組

プロジェクトに参加した学生は、松ヶ岡で実施される清掃活動や一般公開に参加し、地域の人々との交流を重ねながら魅力発信の方法を検討しました。その結果、掛川城周辺を訪れる人々に松ヶ岡へ足を運んでもらうきっかけとして、寺社の御朱印にならった「御邸印」の制作を提案。地域住民や松ヶ岡を愛する会、掛川市と協働し、2 種類の御邸印を完成させました。

■2 種類の「松ヶ岡御邸印」

【葛布御邸印】

山崎家は江戸時代から葛布を扱う商家で、主屋の小座敷(次の間)に備えられた天袋の小襖に、江戸時代末期の葛布が残っています。金箔を散らした葛布は、約 170 年の時を経て飴色に変わり、松ヶ岡の歴史を見守ってきました。この「葛布」の画像をベースに山崎家に伝わる「家紋」と「以善堂」の印を押した「御邸印」を作成しました。



葛布御邸印



小座敷(次の間)「小襖」

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 デザイン学部 新妻淳子研究室
Tel. 053-457-6227 / Fax. 053-457-6123
Email. j-niit@suac.ac.jp

公式 Web サイト



【松の御邸印】

現在も「松ヶ岡」の名の通り、庭園の「松」が邸宅の景色をつくり上げています。148 年前に明治天皇が過ごされた表座敷の「松」の欄間は、陰影によって豊かな表情を見せ、庭園とともに愉しむことができます。庭園の「松」と欄間の「松」を表現した「御邸印」を作成しました。



表座敷「松の欄間」

■お披露目会及び限定販売

【お披露目会】

日時：2026 年 10 月 24 日(土) 8:00～9:00 ※定期清掃ボランティア活動にて

会場：松ヶ岡(旧山崎家住宅) 掛川市南西郷838

【限定販売】

日時：2026 年 11 月 7 日(土) 9:00 頃～14:00 頃 ※さわやかウォーキング特別公開にて

会場：松ヶ岡(旧山崎家住宅) 掛川市南西郷838

販売価格：葛布御邸印 500 円

松の御邸印 800 円

※売上げは、松ヶ岡の修復工事費用として寄付されます。

【主催】静岡文化芸術大学 地域連携演習「松ヶ岡魅力創出プロジェクト 2026」

【協力】松ヶ岡を愛する会、掛川市

【取材のお願い】

お披露目会では、御邸印の制作に協力いただいた清掃ボランティア、松ヶ岡を愛する会および掛川市の皆様に向けて御邸印を初披露します。ぜひご取材くださいますようお願い申し上げます。

■お問い合わせ先

掛川市文化・スポーツ振興課文化財係 0537-21-1158

静岡文化芸術大学 伝統建築研究室 j-niit@suac.ac.jp

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 デザイン学部 新妻淳子研究室

Tel. 053-457-6227 / Fax. 053-457-6123

Email. j-niit@suac.ac.jp

公式 Web サイト

